

ソルガム・ジャパン・ホールディングス（東京都品川区）はさきごろ、タイの大手鉄鋼事業会社であるサイアムスチールグループ傘下のサイアム・フォレスト・マネジメン トカンパニー（SFM）

とバイオマス製品の事業化に向けた実証試験栽培プロジェクトなどに関する基本合意（MOU）を締結したと発表した。

バイオマス製品とは、エチオピア原産のイネ科の植物であるスーパーソ

ルガムを原料としたスーパーソルガムペレットやスーパーソルガムサイレージ飼料などになる。

両社は今後、これらのバイオマス製品の製品化を目的とした実証試験栽培の実施・分析・検証を



ソルガム・ジャパン・ホールディングス（左）とサイアムスチール・ホールディングス（右）の社長が握手している。提供：ソルガム・ジャパン・ホールディングス

タイで行い、事業化実現に向けて取り組んでいく。

SFMは、バイオマス燃料の原料向けにゴムの古木の調達、早生樹種のプランテーションと供給を営んでいる。

今回のプロジェクトでは、SFMはソルガム・

ジャパン・ホールディングスが収穫したスーパーソルガムから日本市場向けに、スーパーソルガムペレットやスーパーソルガムサイレージなどのサンプルを製造する。

製造されたサンプルは、ソルガム・ジャパン・ホールディングスの発電所をターゲットに、

日本国内の発電事業者に提供し、燃焼試験を実施する計画だ。

スーパーソルガムペレットは現在、日本国内の石炭火力発電所の混焼用バイオマス燃料として問い合わせが多いという。

ソルガム・ジャパン・ホールディングスは、実証試験栽培が成功した場合、「日本市場向けバイオマス燃料を安定的・継続的・計画的・低価格での提供を実現していく」としている。同社は今後、日本国内の石炭焼き

火力発電所やバイオマス発電所をターゲットに、スーパーソルガムペレ

## ソルガム・ジャパン・ホールディングス

顧客である

# 日本市場向けバイオマス燃料の提供を目指す

# バイオマス製品の事業化に向けた実証試験栽培プロジェクトをタイで実施

の積極的な営業活動を展開している。く方載。